

県内に「春一番」 昨年より12日遅く



朝方の激しい風雨などで落ちたツバキの花が目立つ緑地
11月3日午後、鹿児島市与次郎1丁目

鹿児島地方気象台は3日、九州南部と奄美地方に「春一番」が吹いたと発表した。鹿児島市東郡元町で今年最高の24・3度を観測するなど県内各地の最高気温は4月中旬～6月上旬並みとなった。各地で強い風が吹き、同市与次郎1丁目の緑地では、赤いつばきの花が数多く地面に落ちていた。

12地点で今年最高気温

「春一番」は、立春(2月3日)から春分(3月20日)の間に初めて吹く暖かい南寄りの強い風。「春の嵐」とも呼ばれる。最大風速8级以上、気温の上昇などの目安があり、観測されない年もある。今年は昨年より12日遅かった。

気象台によると、3日は日本海の低気圧が東に進み、九州南部・奄美地方に暖かい風が流れ込んだ。県内33地点のうち12地点で最高気温が今年最高となった。県内の最高気温は5日まで平年より高く、6～10日は平年並みか平年より低くなる見込み。

2025年3月4日付18面

むずかしい漢字とことば

奄美(あまみ) 吹(ふ)いた 中旬(ちゅうじゅん) = 月の11日から20日までの10日間。 上旬(じょうじゅん) = 月の1日から10日まで。 与次郎(よじろう) 暖(あたた)かい 嵐(あらし) 呼(よ)ばれる 上昇(じょうしょう) 遅(おそ)かった 流(なが)れ込(こ)んだ 並(な)み

【問1】九州南部と奄美地方に「春一番」が吹いたと発表されたのは、いつでしょう。

【問2】発表したのは、どこでしょう。

【問3】問1の日の鹿児島県内各地の最高気温は、いつ頃並みだったのでしょうか。

【問4】鹿児島市与次郎1丁目の緑地では、風雨により何が地面に落ちていたのでしょうか。

【考えてみよう】「春一番」について、調べよう。